

昭和三十九年三月三十日招集（第九号）
第一回市議会定例会々議錄

館山市議会第一回定例会会議録（第九号）

昭和三十九年三月招集

三月三十日（月曜日）

議事日程（第九号）

第一議案第六号

館山市議会委員会条例の一部を改正する
条例の制定について

第二請願書

午後五時四十五分

開議

議長（里見佐太郎君）本日出席議員数 二十九名（二欠）
三十八年度第一回市議会定例会第九日目の会議を開
会いたします。

議長（里見佐太郎君）お諮りいたします。会議時間も迫り
まうので、会議時間を延長したいと思っておりますが、これ

にや異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

や異議なしと認めます。よつてさう決まりました。

本日の議事はお手元に配布してございます日程表によつて行ないます。

議長(黒川佐太郎君) 日程第一議案第六九号を上程いたします。

(書記朗読)

議案第六九号 館山市議会委員会条例の一部を改正する

条例の制定について

議長(黒川佐太郎君) 三二番 三沢節議員

三二番(三沢節君) 提案者として代表として片説明を申し上げたいと思ひます。

よる十三日。本会議におきまして議決されました館山市部課設置条例の改正に伴い館山市議会委員会に属する

所管事項を今回改正いたしたいと存じまして本議案は提案
いたした次第でございます。

以上簡単でございますが、皆様、中賛同をお願いいたしま
す。

議長（里川佐太郎君）本案に対する中質疑を願います。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（里川佐太郎君）異議なしとのお言葉がございましたが、原案
通り可決することに中異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（里川佐太郎君）中異議なしと認めます。よって本案は
原案通り可決されました。

日程第二請願書と上程いたします。

（書記朗読）

議長（里川佐太郎君）本請願書の紹介議員の中説明を

求めます。 一〇番 辻田実議員、

(一〇番議員登壇)

一〇番(辻田実君)請願書の趣旨内容について、中説明を申し上げたいと思います。

本請願書に対しましては、三月二十日並びに三月二十一日の二日間にわたりまして市内の六カ所で街頭署名を行なつたそうでございます。四千をこえるところの署名が集まつておりまして、さらに船形漁業組合の大会におきまして漁民の総意をもつて、又村の意向が伝えられております。

それに基づきまして本請願書が提案されていきますことを申し伝えておきたいと思ひます。

請願書の趣旨につきましては、防衛庁が防衛第二次計画の内容を二月上旬に明らかにして以来、各種団体並びに館山市長等に対しまして防衛計画の一端を述べてお

ります。

このことは三月二十六日に館山市長並びに議長、副議長が防衛庁に陳情した際に明らかにされておる。附録でございませう。

これに基きましてこのような航空基地の拡張に対するところの反対をお願いしたいという趣旨に基きまして請願がなされております。

請願がなされております目的、第一でございませうけれども、まず航空隊の基地拡張よりも、現在館山市において明らかにされておりますところの漁業計画、さらには国民休暇村の建設計画を優先させていくということを決議していただきたいということが一つでございませう。

第二番目にハース型というジェットヘリコプターが配置されておることが明らかにされております。さらには二月二

十五日におきましては、その第一機がすでに配置されておる
のでございます。

このことにつきましてはすでに防衛庁におきまして二十数
機この種（ヘリコプター）が新三菱重工業小牧工場で製作
されておることも明らかにされております。

さらにこの飛行機が国産第一号機でございまして三月
二十七日のNHKのテレビにすりますと初めてできた
この飛行機が館山市において訓練をいたしまして、安
全性が保たれれば全国にこの種（飛行機）が配置され
るということが明らかになっておるわけでございます。

市街地の密集した館山市航空隊においてこのような安
全性を確かめるような飛行機が飛ぶ、ということとは、
非常に危険でございまして、このことにつきまして市民
に対するところの安全が保障されない面におきましては、

こゝ種々飛行機や館山基地に対するところの配置に対して、私たちは又対するという立場をとらなければならぬというのではないかという点におきまして大きな市民に危険を与えるところのH500型ジェット・ターボプロップ型やヘリコプターについて又対をいただきたいといううが、第ニの目的でございます。第三につきましては沖ノ島、鷹ノ島、維持と保護でございます。これにつきましては古来より沖ノ島、鷹ノ島に対するところ、館山市民の信仰的なその伝統というものは漁業の要するに魚付林として敬わいておるとともにさらに館山漁港の保安として非常に重要な意味をもつてございします。こういう魚付林さらには館山漁港の保安という意味に対してまして旧海軍におきましても沖ノ島、鷹ノ島に対して飛行機がぶつかって支障をきたしておるという事実がありながらも撤去することとができません。今日に至っておるわけでございます。

私はそれを考えたときに、館山航空隊より日丸のハチマキを
 として、そして特攻隊として行った幾多の青年パイロット
 が、わだつみの声として平和を願ってあったであらう。そ
 して、今、戦争が終つた今日、軍部ですら取り払うことが
 できなかつたところから、あつた沖ノ島、鷹ノ島を撤去するこ
 とは、歴史的にも市民感情といつても、耐えがたい
 ところであると思います。

さらには、観光を中心として進んであります本市にお
 きましては、速やかに沖ノ島、鷹ノ島を維持と保護
 に対して、議会において決議していただきたいということが
 第三でございます。

第四につきましては、既に明らかにされておりますところ、観
 光、さらには産業計画を初期の目的通りにとどめ、おろ
 実現していただきたいということでございます。

この点につきましては、館山市におかれておる立場というものが、産業工業地帯の造成、さらには、発展の中において当然、館山がとるべき方向というものは、大きな路線の中で示されておるわけでございます。

すなわち、観光、さらには、産業の発展というものが、今後の館山に対するところ、歴史的な流れであるわけであり、そうような中におきまして、軍事を優先する、産業観光を優先するかという時に際しまして、私たちはやはり、今まで十数年にわたりまして、積みかさねてきたところの観光と産業の計画を、やはりとどこおりなく、初期の目的通り、達成させていくということが、館山市にとりまして、非常に大切なことであるというふうに考えまして、この第四点につきましては、観光と産業の充実ということを、特にお願いいたしまして、お願いされておるところでございます。

以上四点に対しますところの請願の内容でございまして、皆様が絶大な御協力をお願いいたしまして採決いただければ、すすことをお願い申し上げまして提案趣旨の説明にわえさせていただきます。(拍手)

議長(黒川佐太郎君)本案に対する御質疑を願います。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君)御質疑ないものと認めます。

よって本提案に対する質疑打切、採決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

一番(吉田勇治郎君)この際動議を提出いたします。

ただ今採決することになり、よろしく議案につきまして決議書をつけると吉田勇治郎、鈴木孝、小沢恵太郎、西村真次、山本昇、車名に御提議いたします。

。議長(黒川佐太郎君)ただ今、吉田勇治郎議員より本議案に
決議書をつけ、旨の動議が提出され、このたびは本議題を
議事日程にのせることに、中異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

。議長(黒川佐太郎君)中異議ないものと認めます。

従いまして、このより決議案を議題といたします。

このより決議案の説明を求めます。一番議員 吉田勇

治郎議員。

。一番(吉田勇治郎君)ただ今議題とかりました決議案を朗
読いたします。

(決議案朗読)

。一番(吉田勇治郎君)

要旨

本市の産業観光計画は、館山市経済の盛衰にかかわる

重要計画であるので左記理由により本市計画と抵触せざるよう格別の中高配を願いたい。

理由

館山市は千葉県の最南端に位置した当地方における商工水産業を主として観光交通の中心にわたっております。特に近年は南房総国立公園の指定、或いは国民休暇村の建設等、国民の健全なレクリエーション地帯として、大きくフロズアップされ、更にまた水産面におきましても遠洋漁業基地になつており、すでに限界点に達してきた東京横浜、西横浜に代る港湾として将来大きく発展が期待されるのでありまして、市の総合建設計画も、これらの線にそつて着々進めていくのであります。

しかるに今度、当市に基地をもつ、海上自衛隊第二十一航空群、館山航空隊においては、昭和三十九年より四十年に

かけて、現在使用のHSS一型（リコプターからHSSB型（約千枚機）の増強と、その切替えを完了すると共に合せて飛行場拡張計画を防衛庁において計画されているのであります。この拡張計画をつぶさに検討いたします。とき、ここに述べた市の発展計画に対して、大きな支障をきたす事が予想されるのであります。

すなわち、当市の産業振興計画は概ぐる昭和三十年十一月、市議会において上程された決議書にさい、館山港、鷹の島を中心とした総合開発計画、並びに昭和三十三年八月、厚生省告示第百二十号による南房総国立公園の集団施設地区として、沖の島地区の国民休暇村建設計画に全面的な支障をきたすおそれがあるのであります。当館山市民の福祉増進をはかるためには、この諸事業の実現なくしては、当市将来の発展は全たくわいとな

いのでありまして。かかる現況を考察する時、今度の海上自衛隊館山航空基地の拡張計画は、館山市の命脈を左右する誠に憂慮する事態を招来するものであります。当航空基地の拡張に反対いたします。右決議する。

昭和三十九年三月三十日

館山市議会

以上朗読申し上げるの議案でございますが、るる執行部におきましても、議会におきましても、本件については特に関心をもつて、長期にわたる検討をなさねばなりません。本決議案が速やかに採決されます。市の発展向上の一端に寄与することを希望いたします。

議長(黒川佐太郎君)

(拍手)

ただ今、決議案のごとくに決定することに、中絶議ありま

せんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(黒川佐太郎君) 異議ないと認めます。よって決議案は可決されました。

議長(黒川佐太郎君) ニよて第一回市議会定例会を閉会いたします。

午後六時一十分 閉会

本

本日、会議に付した事件

一 議事日程に同じ

出席議員

吉田勇治郎

鈴木正一郎

＝ 官 山 市 議 会

小柴 孝

館石 伝蔵

田中 祿郎

秋山 大三郎

望月 照正

辻田 実

石井 正

黒川 佐太郎

菊井 敏博

志村 信作

小沢 恵太郎

関 武夫

西村 真次

藤田 好治

保科 忠夫

江田 徳太郎

君塚 喜三

中村 省吾

鈴木 孝

嶋田 繁

山田 教宇

鈴木 市蔵

安藤 亀吉

安沢 徳順

三沢 節

山本 昇

松本 藤太郎

山口 康

田村源治郎

安西益男

島野茂樹郎

荻生田七郎

高橋文治

昭和三十九年三月三十日

右会議の次第を録しここに署名す。

館山市議会議長

黒川 隆吉

司 署名議員

鈴木 市光

司

堀 月照

食山市

平山

